

企業版ふるさと納税とは

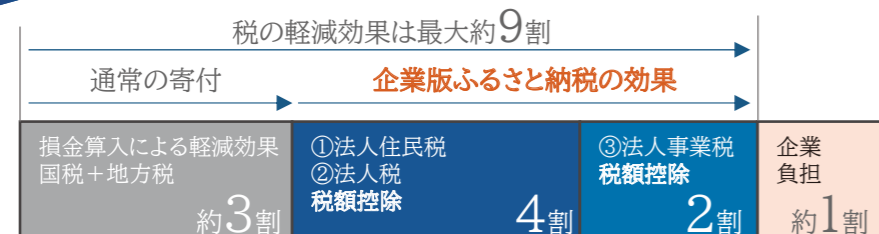
2020年の制度改正後、企業版ふるさと納税制度をご利用いただいた場合のメリットが大きくなりました。

「地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)」は、地方創生を加速・充実させることを目的とした税制改正に伴い、2016年に創設されました。地方公共団体による地方創生の取組に対して、企業が寄付を行った場合、税制上の優遇措置を受けられるという制度です。

この制度が2020年に改正され、企業の寄付額のうち最大約9割が税負担軽減の対象となったことから、企業の実質的な負担は最小で約1割となりました。本制度は、社会貢献、官民連携の新しいツールとして、SDGsの達成やCSRの手段として、注目されています。

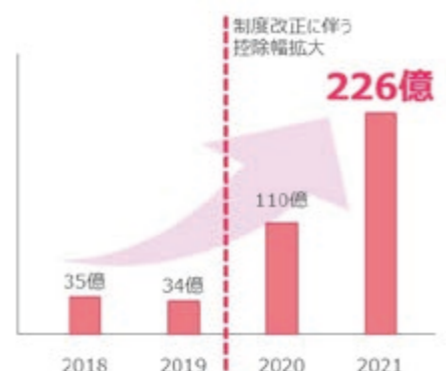
ご存じですか

企業版ふるさと納税制度のしくみ



- 税目ごと特例措置**
- ① 法人住民税
寄付額の4割を税額控除(法人住民税法人税割額20%が上限)
 - ② 法人税
法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄付額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
 - ③ 法人事業税
寄付額の2割を税額控除(法人事業税額の20%が上限)

2020年の制度改正後 本制度の利用額が拡大



内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、内閣府地方創生推進事務局資料よりつくば市作成

- <留意事項>
- ・1回あたり10万円以上の寄付が対象です。
 - ・寄付の代償として経済的利益を受け取ることは禁止されています。
 - ・本社が所在する地方公共団体への寄付は本制度の対象外です。

よくいただくご質問

- | | |
|---|--|
| <p>Q 寄付実施の手続きは？</p> <p>A 手続きのステップは以下の通りで、ご提出いただく書類は、A4で1枚だけです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市から寄付対象事業をご紹介 ② 貴社より寄付申出書をご提出 ③ 貴社より寄付の払い込み ④ 市から領収書を発行 | <p>Q 寄付のメリットは？</p> <p>A</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市が発行する広報物への掲載(ホームページ、広報紙等)や、市長からの表彰・贈呈式開催を通じ、貴社の社会貢献活動を市としてもPRします。 ② ご希望により貴社の知見を活用した新規事業の共同検討が可能です。 ③ その他、寄付に応じたお礼を検討します。
※お礼の内容は、寄付額によって変わります。 |
|---|--|

皆さまからの寄付や支援は、つくば市の日々の運営を支えているほか、将来世代の育成、持続可能なまちづくりなど、大切に活用されています。

制度の詳細、事例などご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

つくば市 政策イノベーション部
持続可能都市戦略室
〒305-8555 茨城県つくば市研究学園1-1-1
【電話でお問合せ】
029-883-1111(代表) [平日 8:30-17:15]
【メールでお問合せ】
sdgs2030@city.tsukuba.lg.jp

つくば市ホームページ
企業版ふるさと納税のご紹介

🔍 つくば市 企業版ふるさと納税



2022年11月初版発行

つくば市 企業版ふるさと納税



寄付のご案内
[ダイジェスト版]

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

つくば市とともに未来をつくりませんか！

持続可能都市を目指し、つながりを力に未来をつくる
つくば市の取り組みへ、貴社のご支援をお願いします。

支援事業例『つくばSTEAMコンパス事業』
市が研究者有志と連携、子ども達の社会力と想像力を「STEAM教育」の手法で伸ばし、未来を生きるための思考力を育成



つくば市の企業版ふるさと納税をご利用いただいた企業様のお声 #1

「つくばSTEAMコンパス事業」へ寄付、イベント開催費用の一部に役立てていただくよう指定しました。当社従業員の子どもたちが、チラシで当社の名前を見つけ、「お母さんの会社だ!」と誇らしげにしていたことが話題に。従業員のエンゲージメント向上にもつながりました。
(令和3年度寄付企業様)



つくば市は、筑波山をはじめとする豊かな自然に恵まれ、研究学園都市として発展してきました。2005年のつくばエクスプレス(TX)開業を経て、沿線地区を中心に人口が増加を続けているほか、主要な高速道路網、成田空港への良好なアクセスから、物流をはじめとする関東における新たな産業的要衝ともなっています。

一方、こうした変化に伴う社会的課題にも直面しています。例えば、急速な人口増加に対応するため、保育体制の充実や小・中学校の新設などの対策、国策として半世紀前に構築された市内インフラの老朽化や維持管理対策、TX沿線地区から離れた周辺地域で進行する少子高齢化対策など分野も様々で、財政面でも大きな負荷を抱えています。

<茨城県つくば市の概要>

- ▶人口/世帯数 (2022年11月1日現在、常住人口ベース)
252,923人/118,508世帯
- ▶外国人居住者数 (2022年11月1日現在)
11,966人(146カ国)
- ▶面積 (2022年11月1日現在)
283.72km²



2050年のつくば市のあるべき姿を想定して策定した「つくば市未来構想」。
テーマや具体的な事業を選択し、支援することができます。

魅力をみんなで創るまちへ
地域振興、文化芸術、スポーツ、市街地振興など



つくば駅周辺中心市街地のまちづくり

誰もが自分らしく生きるまちへ
福祉、保健医療、防災・防犯、公共インフラ、公共交通など



筑波山地域ジオパーク拠点の整備・設置

未来をつくる人が育つまちへ
子育て、教育、ダイバーシティなど



将来世代に向けた先駆的科学教育

市民のために科学技術をいかすまちへ
イノベーション創出、産業振興、循環型社会など



スタートアップ育成拠点の整備・構築

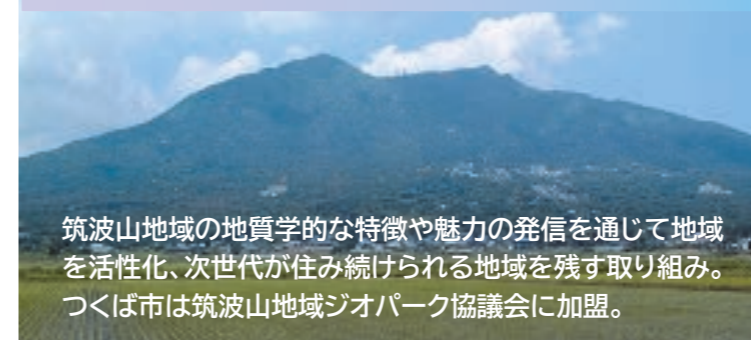
市は「世界の明日がみえるまち」を市のビジョンとして掲げ、先駆的な取り組みも積極的に導入し、市政運営を行っています。2022年には国の「スーパーシティ」に指定されました。市にゆかりのある企業、団体の皆様はもちろん、市の取り組みに期待と関心を持たれた皆様の幅広いご支援をお待ちしています。

支援事業例『つくばこどもの青い羽根事業』

世代を超えた貧困の連鎖を断ち切るとともに、すべての子どもたちが夢と希望をもって成長していくため、学習支援、安全な居場所の提供等を実施する取り組みです。



つくば市の企業版ふるさと納税をご利用いただいた企業様のお声 #2



筑波山地域の地質学的な特徴や魅力の発信を通じて地域を活性化、次世代が住み続けられる地域を残す取り組み。
つくば市は筑波山地域ジオパーク協議会に加盟。

支援事業例『筑波山地域ジオパーク事業』

当社の事業では、つくばの自然の恵みを利用しており、持続可能性の観点からつくばの自然環境の維持に役立ててほしいと考え、寄付を決めました。
つくば市のホームページでも紹介いただきました。当社の企業イメージの向上にもつながりそうです。
(R3年度寄付企業)